

J B D F 東北ブロック昇降級規定

平成22年1月1日施行

【プロフェッショナル昇級規定】		
級	摘要事項	昇級時期
B級 A級	自己級の競技会において3位以内（上級競技会においての決勝も含む）に合計5回以上入賞したとき。	年度末
C級 B級	自己級の競技会において3位以内（上級競技会においての決勝も含む）に合計4回以上入賞したとき。	年度末
D級 C級	(イ)自己級の競技会において3位以内（上級競技会においての決勝も含む）に合計4回以上入賞したとき。	年度末
	(ロ)自己級以上の競技会で優勝したとき	即日
N級 D級	上級競技会において出場組数が 3～6組（優勝したとき）。 7～12組（決勝に入賞したとき）。 13～24組（準決勝に入賞したとき）。 25組以上（最終予選に進出したとき）。	即日

【プロフェッショナル降級規定】		
級	摘要事項	降級時期
A級 B級	自己級の競技会で3位以内に4回入賞もしくは決勝に6回以上入賞しなかったとき。	年度末
B級 C級	自己級以上の競技会で決勝に2回以上入賞しなかったとき。	年度末
C級 D級	自己級以上の競技会で決勝に3回以上入賞しなかったとき。	年度末
D級 N級	自己級競技会に2回出場しなかったとき（内回はライジングスター戦も可）。	年度末

【補則規定】

1. 摘要事項に1つでも該当した場合は、昇級または、降級する。
2. 登録年度（1競技年度とは）その年の1月1日から12月31日までとし、その年度内に昇級した選手は、その年度内は、降級規定の適用を受けない。次年度は、昇級したクラスからスタートする。
3. 決勝とは、6位までとし、7～8位は準決勝扱いとする。
準決勝、最終予選は、残った組全員とする。
4. 全東北クラスの選手権とは、東北オープンダンス選手権と、全東北ダンス選手権の2競技会のことである。
5. 特別昇級：C級以下の選手が抜群の成績を得た場合は2階級以上の昇級を認める場合もある。但し競技部において審議し、東北ブロック理事会の承認を得るものとする。
6. 年度末昇級の昇級規定適用は降級規定のクリアを前提とする。

【アマチュア昇級規定】		
級	摘要事項	昇級時期
B級 A級	(イ)全東北クラスの選手権で6位以内に入賞したとき。	年度末
	(ロ)自己級以上の競技会で3位以内に入賞したとき。	年度末
	(ハ)自己級以上の競技会で6位以内に2回以上入賞したとき。	年度末
C級 B級	(イ)全東北クラスの選手権で準決勝に入賞したとき。	即日
	(ロ)上級競技会で6位以内に入賞したとき。	即日
	(ハ)C級競技会で3位以内に入賞したとき。	即日
	(ニ)C級競技会で6位以内に2回以上入賞したとき。	年度末
	(ホ)自己級以上の競技会で準決勝に4回以上入賞したとき。	年度末
D級 C級	(イ)D級競技会出場組数3～6組（位のみ）。	即日
	7～10組（2位まで）。11～20組（3位まで）。	
	21～30組（4位まで）。31～40組（5位まで）。	
	41組以上（6位まで）。	
	(ロ)上級競技会で6位以内に入賞したとき。	
E級 D級	(イ)E級競技会出場組数3～6組（位のみ）。	即日
	7～10組（2位まで）。11～20組（3位まで）。	
	21～30組（4位まで）。31～40組（5位まで）。	
N級 E級	(イ)ノービス競技会出場組数3～6組（位のみ）。	即日
	7～10組（2位まで）。11～20組（3位まで）。	
	21～30組（4位まで）。31～40組（5位まで）。	
	(ロ)上級競技会で3位以内に入賞したとき。	
	(ロ)上級競技会で3位以内に入賞したとき。	

【アマチュア降級規定】		
級	摘要事項	降級時期
A級 B級	自己級の競技会で準決勝に4回以上残らなかったとき。	年度末
B級 C級	自己級以上の競技会で最終予選に3回以上残らなかったとき。	年度末
C級 D級	自己級以上の競技会で最終予選に1回も残らなかったとき。	年度末
D級 E級	自己級以上の競技会で1次予選を1回も通過しなかったとき。	年度末
E級 N級	自己級競技会に1回も出場しなかったとき。	年度末

平成31年2月10日改定